

【⑦車内で飲酒しているのを発見し、通報・検挙につながった事例】

ある日の夕方、いつものように仕事に行く途中のコンビニエンスストアに立ち寄った時のことです。

私が駐車場に車を止めると、すぐに左側にワゴン車が止まりました。

何気なく、その車を見ていると運転席から40歳くらいの男の人が降りてきて、缶酎ハイの空缶を店のゴミ箱に捨てて、店の中に入っていったのです。

私は、「まさか、飲酒運転してないよね。」と思いながら、店に入りました。

そして、買い物を済ませて会計をしている時に、私の後ろに並んでいた先程の男の人が缶酎ハイを手をしているのが目に入ってきたのです。

「あれ。」という思いとともに、もしかしたらこの男の人が飲酒運転をするかもしれないという思いが強まりました。

車に戻って、様子を伺っていると、男の人が車に戻り運転席に座ると同時に缶酎ハイを飲み始めたのです。私は、それを見て

この人何しよっちゃろうか、大の大人が飲酒運転するなんて

許せない、何とかしないとイケない

と思い、怒りが込み上げてきました。

この男の人が、飲酒運転して事故を起こしてしまう前に止めないとイケないという思いでドキドキしながら110番通報をしました。

通報した後、しばらくしてその車は駐車場から出て行ってしまったので、私は、早く警察官が来てくれないかなと思いながら見ていると、その車が先の方でパトカーや白バイに止められているのが確認できました。

私は、「事故を起こす前に止められて良かった」と一安心しました。

今回飲酒運転をしてしまった男の人には、

きちんと反省して欲しい。

絶対に、飲酒運転を繰り返して欲しくない。

と思いました。

今後も、もし飲酒運転を見掛けたら必ず通報したいと思います。

